

正解及び解説・出典シート

第1 地理分野

問1 ウ

広陵町の都市公園は、ねずみさん公園（2号児童公園）・りすさん公園（3号児童公園）・たぬきさん公園（4号児童公園）・やぎさん公園（5号児童公園）・きつねさん公園（6号児童公園）・しかさん公園（7号児童公園）・かめさん公園（8号児童公園）・うしさん公園（9号児童公園）・うまさん公園（牧野史跡公園）・竹取公園・広陵運動公園・広陵第1号近隣公園・西谷公園・見立山公園・横峰公園・大福寺児童公園・広陵交通公園・百済寺公園・みささぎ公園・黒石公園・石ヶ谷古墳公園・真美ヶ丘メモリアル広場・1号～7号緑地・馬見南緑地・9号～13号緑地・新山緑地・みささぎ緑地・広陵町パークゴルフコースとなっています。

『広陵町ホームページ』

問2 イ

肥後阿蘇郡の馬見原（熊本県北部）にも大和の馬見の地形と似ており、眺望のよい場所で馬上より見て良い場所を指していることから、全国にもよく似た地形地名があるようです。

『広陵町史(旧)』P648・649

問3 ウ

平成20年に当時県内一人口の多い町だった田原本町を追い抜き、奈良県で最も人口の多い町となりました。人口減少や人口消滅都市が叫ばれるなか、人口増加し続ける数少ない自治体です。

『広陵町ホームページ及び町広報紙』

問4 イ

平成26年に全国の精密な測量が一斉に行われ、決定されました。それまでは16.33㎢でした。1,741自治体中1,617位です。（平成26年10月現在）

『広陵町及び国土地理院ホームページ』

問5 ウ

広陵町は、北東から時計回りに三宅町、田原本町、橿原市、大和高田市、香芝市、上牧町、河合町と7市町に囲まれています。

問6 ア

竹取公園は平成6年5月に一部開園し、平成15年4月に完工となりました。木製遊具など小さな子どもでも遊べる仕様となっています。

『広陵町町勢要覧2014』P19

問7 ウ

平成8年3月28日に、「町指定天然記念物」に指定されています。
『広陵町史』P1163,1174

問8 イ

主な河川として、町域の東から、曾我川、葛城川、高田川、佐味田川が流れています。

問9 ウ

大字広瀬の広瀬川に架かる橋の名前で、大字広瀬の小字マンガにあることから、マンガ橋と名付けられました。

問10 エ

大字「中」は、萱野から古寺、南郷、高田へ抜ける南北道が通り、馬見丘陵の集落から広瀬、田原本へ抜ける東西道上でもあったことからの名称と考えられます。

『広陵町史』（旧）P645

第2 歴史分野

問1 ウ

聖徳太子が開いた熊凝精舎を前身とする日本初の官寺「百済大寺」の伝承地とされています。現在の三重塔は鎌倉時代の建立と伝えられています。

『町勢要覧』P11

問2 ウ

大和高田市への合併の希望を捨てられなかった池尻・藤森の住民は、昭和32年4月に住民投票を実施、同年7月に分離が確定しました。

『広陵町史』P692・693

問3 イ

大正7年4月に、田原本町と王寺町を結ぶ鉄道として開通しました。開通当時は、大和鉄道という鉄道会社で「やまてつ」の愛称で、貨物列車も走っていました。昭和39年に近鉄の路線となりました。

『広陵町史』P818・819

問4 ウ

この両界曼荼羅は、大福寺本堂の仏後ろ壁に置かれた、板絵両界曼荼羅で、右に胎藏界、左に金剛界の各板絵が各一面が並べられ、その材質は、檜の板です。『広陵町史』P1043～1047

問5 エ

大字古寺にある奈良県広陵健民運動場（健民グラウンド）でソフトボールが、広陵中央体育館でフェンシングが行われました。

『第39回国民体育大会わかくさ国体写真集』

問6 ア

教行寺は、山号を「安静山」といい、浄土真宗大谷派の寺院で、阿弥陀如来立像を本尊としています。

文明7年（1475年）に創立された歴史ある寺院です。

『広陵町史』P899

問7 ウ

久居藩の領地があり、大字沢の一部がその領地でした。

『広陵町史』P722

問8 エ

武士の馬の扱いと弓矢の扱いを披露するものとして、流鏝馬神事に参加していました。

『広陵町史』P220

問9 ウ

広陵町域には、平安時代から多くの荘園が散在していましたが、設問の中の大垣内荘は存在しませんでした。

『広陵町史』P195～214

問10 エ

戦国時代の城館として、箸尾氏居館（弁財天）、細井戸氏居館（平尾）、南郷氏居館（南郷）、広瀬氏居館（広瀬）があったとされます。

『広陵町史』P716～719

第3 古墳分野

問1 ア

巢山古墳は古墳時代中期初頭に造られた、全長約220mの前方後円墳です。昭和27年3月29日に国の特別史跡に指定されました。出島状遺構は、史跡整備事業に伴う発掘調査で前方部西側の周濠内から見つかりました。家形、^{かごい} 圆形、^{きぬがさ} 蓋形、^{さく} 柵形、^{たて} 盾形、水鳥形の形象埴輪が出土しました。

『ふる里の文化財をたずねて』P11、『文化財と自然探訪マップ』、『巢山古墳』リーフレット

問2 ア

平たい^{くちばし}嘴をもつコハクチョウ（^{がんかもるい}雁鴨類）と考えられています。

『ふる里の文化財をたずねて』P12、『広陵町文化財保存センター』リーフレット

問3 ア

新木山古墳は古墳時代中期前葉に造られた、全長約200mの前方後円墳です。明治18年に陵墓参考地に治定されました。巢山古墳と同じく両側のくびれ部には造り出しがあります。^{まが}勾玉、^{くだ}管玉、^{なつめ}棗玉の他、^{つぼ}家形、^{きぬがさ}壺形、^{たんこう}蓋形、短甲形の形象埴輪が出土しています。

『広陵町史』P43～44、『ふる里の文化財をたずねて』P14、『文化財と自然探訪マップ』

問4 ア

三吉石塚古墳は古墳時代中期後葉に造られた、全長約45mの帆立貝形古墳です。平成4年3月6日に県の史跡に指定されました。円筒埴輪、朝顔形埴輪は、墳丘一段目、墳頂部、外堤の一部に、立て並べられていました。

『三吉石塚古墳』リーフレット

問5 イ

新山古墳は古墳時代前期中葉に造られた、全長約126mの前方後方墳です。明治19年に陵墓参考地に治定されました。三角縁神獸鏡、直孤文鏡などの鏡が34面出土しています。

『広陵町史』P22～33、『ふる里の文化財をたずねて』P10、『文化財と自然探訪マップ』

問6 ウ

牧野古墳は直径約60mの円墳です。昭和32年6月19日に国の史跡に指定されました。古墳が造られた時代は出土した須恵器等から6世紀末と考えられ、『延喜式』に記載されている押坂彦人大兄皇子の^{ならい}成相墓と推定されています。敏達天皇は父、崇峻天皇は叔父、孝徳天皇は孫です。

『広陵町史』P66～71、『ふる里の文化財をたずねて』P17、『文化財と自然探訪マップ』

問7 ア

牧野古墳の埋葬施設は横穴式石室です。公園管理の一環として、石室の入り口に扉をつける工事前の調査されました。

『ふる里の文化財をたずねて』P5、『牧野古墳』リーフレット

問8 エ

石ヶ谷古墳は古墳時代後期に造られた、東西18m、南北13mの方墳です。埋葬施設の横穴式石室からは、須恵器、土師器の他、鉄鏃、鉄釘が出土しました。

『広陵町史』P71、『文化財と自然探訪マップ』

問9 エ

文代山古墳は古墳時代中期後半に造られた、一辺約48mの方墳です。猪形埴輪の他に、犬形、馬形、家形、蓋形などの形象埴輪が出土しました。

『広陵町史』P56～59、『ふるりの文化財をたずねて』P16、『文化財と自然探訪マップ』

第4 寺院・神社分野

問1 ア

平成7年10月、解体修理によって像内から中国唐代に制作されたと推測される一尺程の檀造十一面観音立像が発見されました。類例のない十一面化仏の配置と緻密な彫刻は、法隆寺の国宝九面観音立像に並ぶべき優品とされています。

問2 エ

『竹取物語』に書かれた竹取翁（讃岐造）とかぐや姫の住んでいたところは、大和国（現在の奈良県）とされており、讃岐と名付けられた神社のあるところは、奈良県北葛城郡広陵町だけであることから、広陵町はかぐや姫の里ゆかりの地と考えられています。

『広陵町ホームページ』

問3 ア

弘安7年（1284年）に勧請しました。近世中期以降、式内社の櫛玉比女命神社に比定されると、社名が櫛玉比女命神社になったと考えられています。他の三つは日本三大弁天です。

『広陵町史』P961～964、『文化財と自然探訪マップ』

問4 ウ

町内で唯一江戸幕府から寺領30石を朱印地として認められました。

『広陵町史』P314～315、『文化財と自然探訪マップ』

問5 エ

百済寺本堂は大織冠と呼ばれ、平成10年3月18日に町の有形文化財に指定されました。盗難にあった馬頭観音立像は現在も見つかっていません。

『百済寺三重塔』広陵町の重要文化財1

問6 イ

十一面観音立像は平成17年6月9日に国の重要文化財に指定されました。発見当初は白檀びやくたんと思われていましたが、その後の樹種鑑定によりマユミであることが判明しました。

『ふる里の文化財をたずねて』P81、『与楽寺十一面観音檀像』広陵町の重要文化財2

問7 イ

石造伝弥勒菩薩座像は昭和54年3月23日に県の有形文化財に指定されました。仏像の表現からすれば大日如来と考えられますが、なぜか「弥勒菩薩」です。左肩上方に六行の刻銘があります。

『広陵町史』P1018、『ふる里の文化財をたずねて』P63、『文化財と自然探訪マップ』

問8 ア

すべて町内にある大和国三十三所観音霊場札所の御詠歌です。イは祐福寺（正相 第四番札所）、ウは喜福寺（安部 第五番札所）、エは常光寺（南郷 第八番札所）の御詠歌。

『広陵町史』P836、844、863、872

問9 エ

毘沙門天立像は平成10年3月18日に町の有形文化財に指定されました。胎内に4628体の印仏が納められていました。

『広陵町史』P1005、『文化財と自然探訪マップ』

問10 ア

向かって右側の本殿には市杵島姫命いちきしまひめのみことを祀り、左側には弁財天を祀ります。巖島神社は町内では他に、三吉の大垣内と斉音寺（記三上神社境内社）、百濟（春日若宮神社境内社）にあります。

『広陵町史』P965、『ふる里の文化財をたずねて』P103

問11 イ

庫裏くりの裏に、古墳時代後期のものと思われる凝灰岩製の石棺があります。

『広陵町史』P87、『ふる里の文化財をたずねて』P24

問12 イ

大垣内の天照大神の外宮が平尾にあるとされ、その外宮がこの社にあたりとされています。

『広陵町史』P925・926

第5 特産品分野

問1 エ

町内に堀田プラスチック株式会社がありますが、年間 1,000 万本生産される内、約 700 万本生産され、全国シェアは約 7 割となっています。金魚すくいでも有名な大和郡山市が近くにあることからポイの生産が盛んになったようです。

問2 ウ

昭和 40 年頃から盛んに栽培されるようになり、昭和 43 年に国の産地指定を受けました。

『広陵町史』 P748

問3 ア

メリヤスとは機械編みの布地の総称で、江戸時代初期に靴下を指すスペイン語、ポルトガル語が転訛したものです。他に「目利安」などの字をあてることがあります。

問4 イ

江戸時代に国内で木綿の普及、需要の高まりにより広陵町内でも盛んに木綿作りが行われるようになり、現在の靴下産業の基礎を築きました。

『広陵町の靴下百年史』

問5 ア

デカとは単位につける接頭語で 10 倍の意を表す語でギリシア語に由来し、アパレル業界において手袋、靴下の 10 足をあらわす単位として使用されます。

問6 イ

もともと広陵町では、江戸時代初期から農家の副業として大和木綿が栽培されていました。

明治 43 年（1910 年）アメリカから靴下を作るためのフライス手回し機を輸入し、旧馬見村で靴下製造を始めたのが、靴下産業の始まりです。

『広陵町の靴下百年史』

第6 祭り・イベント分野

問1 エ

かぐや姫行列は子どもたちにとっても人気のイベントで、かぐや姫と貴公子に扮した子どもたちが行列を行い、観月の灯し火のキャンドルに点火します。

問2 ウ

4 月と 11 月の最終週の土日に行われ、靴下や地域の特産品が販売されます。2

日間で来場する人の数は3万人を超える商工会の一大イベントとなっています。

問3 エ

大垣内区の専光寺で行われる地蔵盆で、毎年8月24日に開催しています。江戸時代から約300年続いているといわれる伝統行事です。

『広陵町史』P1081 及び『町勢要覧』P16

問4 ア

かぐや姫まつりは、平成7年から竹取公園で開催されており、平成27年で21回目となります。2日間にわたり開催され、今年はなんでもパフォーマンス、お笑いライブ、広陵金明太鼓、キャラクターショー、物産展などが催されました。

『広陵町ホームページ』及び『町勢要覧』P15

問5 ア

平成27年には、4月にチューリップフェア、6月に花菖蒲まつり、8月にひまわりウィーク、10月にフラワーフェスタが開催されました。

『町広報紙挟み込みチラシ』及び『奈良県馬見丘陵公園ホームページ』

問6 ウ

綱打ちは平成10年3月18日に町の無形民俗文化財に指定されました。水害を防ぐための神事と伝えられ、綱が切れた年は台風が多く、疫病が流行するとも伝えられています。

『広陵町史』P1078～1080、『文化財と自然探訪マップ』

問7 ア

戸閉祭は奈良県下で最も遅い秋祭りです。寒いから各家で戸を閉めて行ったためにこの名前があります。

『広陵町史』P1082～1083

問8 イ

昔の身分の高い高貴な方は、手に持つ扇で顔を隠していたことに由来しています。

問9 エ

かぐや姫ホールのこけら落としの際に結成された太鼓のグループです。「金明」はかぐや姫の生まれた竹、「金明孟宗竹」に由来しています。

第7 行政分野

問1 ア

当時は、3町村の合併を望まず、大和高田市の合併を望んだ地区もあり、最終的に当時の奈良県知事の専決処分により合併が実現しました。

『広陵町史』P689～691

問2 ウ

当時から、先に合併した馬見町・瀬南村・百済村とも慣習や文化で似た点があったことから、遅れること1年余りで広陵町に編入合併しました。

『広陵町史』P691～693

問3 ウ

「広」の図案化で丸は町の「和」。上に伸びた形は発展を象徴している、とされています。

『町広報紙』昭和33年4月号

問4 エ

公表された平成25年度の市町村税の収納率は全国平均94.2%でした。奈良県平均93.3%の中、広陵町は96.2%の収納率で、町としては、王寺町を先頭に、三宅町、平群町に次いで4位となっています。

『奈良新聞（平成27年1月26日発行）』

問5 イ

現山村町長は7代目です。歴代の町長で林田孝一氏は2度町長として当選となったため、当選者としては6人目です。

『町勢要覧2014資料編など』

問6 イ

広陵西幼稚園、広陵西第二幼稚園、広陵東小学校附属幼稚園、広陵北幼稚園、真美ヶ丘第一小学校附属幼稚園、真美ヶ丘第二小学校附属幼稚園の合計6園です。なお、平成29年度、幼稚園と保育園の機能を兼ねた「こども園」が開園する予定です。

『広陵町ホームページ』

問7 ア

平成24年度で10,040トンの搬入量で、平成22年度から搬入量は減少傾向となっています。

『町勢要覧2014資料編など』

問 8 ア

町の木はモクセイ、町の花はヒマワリと制定されています。町民憲章とともに、昭和 52 年 12 月 20 日に制定されました。

『広陵町ホームページ』

問 9 ウ

現在、赤部・斉音寺・みささぎ台・みささぎ台北・みささぎ台南の 5 か所開園しており、およそ 200 世帯が利用しています。

問 10 エ

26 年度・1 期生 9 名、27 年度・2 期生 9 名が広陵町農業の担い手となるべく座学、実地の学習に励んでいます。なお、アの「広陵元気塾」は広陵町保健センター主催の地域巡回型健康イベントです。

問 11 エ

浪速のモーツァルトこと、キダ・タローが作曲し、町制 60 周年記念の広陵かぐや姫まつり（今年 9 月 20 日）でキダ・タロー氏を招き、広陵中学校吹奏楽部が町歌を演奏しました。

問 12 ア

広陵町合併前、馬見町の区域にあったため、馬見小学校という名前でした。

『広陵町史』P680

問 13 イ

広陵町ができた当初は、「廣陵乃友」のタイトルで町の情報を発信していました。

『町広報紙』昭和 30 年 9 月号

問 14 ウ

広の図案化で丸は町の和を上を上に伸びた形は発展を象徴しています。

『町広報紙』昭和 33 年 4 月号

問 15 エ

広陵町内に、公立保育園は広陵北保育園・広陵南保育園・広陵西保育園・真美北保育園の 4 園があり、私立保育園は常葉保育園・労務保育園・ひだまり保育園の 3 園があります。

『広陵町ホームページ』

問 16 ウ

サービスカウンターは、さわやかホール・図書館・はしお元気村・広陵真美

ヶ丘北郵便局・広陵真美ヶ丘南郵便局・香芝真美ヶ丘郵便局の6か所に設置されており、戸籍全部（一部）事項証明書・住民票・印鑑登録証明書などの証明書の交付や、町税・上下水道料金の収納などの事務を取り扱っています。

『広陵町ホームページ』

問 17 イ

広陵町には、中央体育館・西体育館・東体育館・北体育館・真美ヶ丘体育館の5か所があります。上記の体育館は、1時間100円（中央体育館は200円）で利用することができます。また、中央体育館にはトレーニング室があり1回100円で利用できます。

『広陵町ホームページ』

問 18 ア

「広陵」は、昭和25年に馬見村・瀬南村・百済村が学校組合を設立してつくった中学校名として初めて使われました。由来は、明治30年に「北葛城郡」となる前は「広瀬郡」だったこと、組合立中学校が丘陵部に設置されたことによります。

『広陵町史』P1093

問 19 ウ

平成27年10月には3校目となる奈良県立大学と包括的連携協定を結び、それぞれの大学の長を生かして、まちづくりの支援をしていただきます。

問 20 イ

平成9年7月、現在の地に図書館がオープン。蔵書数が近隣市町に比べて多く平成26年度末で約27万冊を誇り、町内外からも多くの方が訪れています。

問 21 イ

牛乳パックを溶かして手づくりのはがきなどを作ります。町内の方ならいつでもエコセンターで体験が可能です。

問 22 イ

かぐやちゃんはスイーツとなすが大好き！そのため、なすを使ったスイーツを、現在畿央大学の学生や商工会の方たちと開発しようと考えています。

問 23 ウ

月を眺めることが趣味のかぐやちゃん。月に代わっておしおきするわけではありませんよ！

問 24 ア

東御市は温泉や高原でのスキーなどの自然豊かなまちで、1年を通して観光できるスポットです。残念ながら広陵町はチャレンジデーで東御市に敗戦しました。

問 25 ウ

このタイムカプセルを掘り出すのは、「町制100周年の時」つまり2055年となっています。

『役場庁舎玄関前モニュメント』

問 26 イ

RDF炭化処理方法は、直接ごみを燃やすよりも二酸化炭素の排出が少なく、クリーンなごみ処理ができ、また炭化させたごみは燃料ペレットとして使用することができます。

『クリーンセンター広陵』パンフレット

問 27 ウ

平成24年10月から広陵町の上水道は県水100%となり、かつて水道局のあった場所は売却予定となっています。

第8 地域・道路分野

問 1 ウ

広陵町にある讃岐神社は、「竹取物語」の舞台と考えられており、「かぐや姫のまち・広陵町」として知られています。このことから、「かぐや姫のまち」の文字と竹を描いたマンホールの蓋が使用されています。

竹の図案以外に町の花である「ひまわり」のマンホールの蓋もあります。

『広陵町ホームページ他』

問 2 イ

本名は「植村宗一」、植村の「植」の字を二文字にして直木としたようです。明治24年2月21日生まれで、植村宗八の長男。直木という名は、植村の「植」の字を二文字にしたとされています。父宗八は箸尾町大野の生まれで大阪市南区で古物商を営んでいたようです。

宗一は大阪府立市岡中学を卒業し、吉野郡白銀村（現五條市西吉野）で教員となりました。その後早稲田大学入学・中退し、大正7年から作家活動を始めます。しばしば箸尾大野に帰省しています。

『広陵町史（昭和40年発行）』P708 及び『町広報紙』vol.717（平成26年6月）

問 3 エ

主要地方道 奈良県道5号大和高田斑鳩線、奈良県道14号桜井田原本王寺

線、一般県道 奈良県道 105号中和幹線、奈良県道 108号大和郡山広陵線、奈良県道 112号田原本広陵線、奈良県道 132号河合大和高田線、奈良県道 157号箸尾停車場線、奈良県道 274号明日香大和郡山自転車道線、奈良県道 277号大和高田広陵線の9本となっています。

『奈良県ホームページ』

問4 ア

福井県美浜町と広陵町は小学生の漁業体験など10年を超える交流を続けていましたが、第20回広陵かぐや姫まつり（平成26年9月20日）において正式に友好交流協定を締結しました。

『広陵町ホームページ』

問5 ア

笠・ハリサキの名称は字名、小字名等の地名を冠しています。他の真美ヶ丘ニュータウンを走る幹線道路には同じように名づけられています。

『広陵町道路台帳』

問6 イ

役場周辺に位置する南郷村は長年安定した用水の確保に苦勞していましたが江戸時代に幕府代官喜多見勝忠によって大和高田市に南郷池が築造され南郷村に水利権を与えたことにより水不足が解消されました。

『広陵町史』P742

問7 エ

広陵町内には、中和幹線をはじめとする幹線道路が通っていますが、国道はありません。

問8 ア

消防団は地域ごとに分けられ、西小学校区と真美ヶ丘地区に第1分団、大字南郷、大字古寺地区に第2分団、大字百済と大字広瀬に第3分団、北小学校区に第4分団があります。

問9 ウ

竹取公園には、自然の空気に触れながらスリルとスピード感いっぱいのそり遊びが楽しめるちびっこゲレンデのほかにも、約1500年前の古墳時代の住居を復元し古代人の生活を学習できる古代住居広場や公園の南側にある園内一大きい軽スポーツが楽しめるみんなの広場や私たちの生活に古くから関わってきた植物を8つの森に分けて紹介している学びの森などがあります。

問10 イ

かつらぎの道は、近鉄大阪線五位堂駅の北側から広陵町の町道である上田部奥鳥井線までの約2kmにわたって続く歩行者・自転車専用道です。途中、大型ショッピングセンターのエコール・マミの横を通り、北詰から東へ向かうと竹取公園や馬見丘陵公園へも行くことができます。

問11 ア

広陵町パークゴルフコースは平成22年10月25日にオープンし、広瀬路コース（9ホール・パー33）と百済路コース（9ホール・パー33）の2コースがあります。

問12 イ

広陵町には、馬見交番と広陵交番があります。馬見交番の所管区は馬見北1～9丁目、馬見中1～5丁目、馬見南1～6丁目、みささぎ台で、広陵交番の所管区は大塚、安部、平尾、疋相、三吉、笠、南郷、古寺、百済、広瀬、中、寺戸です。また、交番の他に箸尾駐在所があり、所管区は沢、大野、萱野、南、弁財天、的場、大場です。

『奈良県警察本部ホームページ』

問13 エ

近鉄田原本線は、西田原本駅から新王寺駅までの8駅、約10kmの単線で、近鉄では唯一孤立した路線です。

『広陵町史』P818,819 及び『近畿日本鉄道ホームページ』

問14 イ

広陵町の名誉町民は4名おられ、ご存命の方は、野村忠宏さんとおじの野村豊和さんです。

『広陵町町勢要覧2014』P9

問15 エ

1996年、アトランタオリンピックにて金メダルを獲得し、広陵町名誉町民となりました。その後、2000年シドニーオリンピックにて2連覇達成、2004年アテネオリンピックにて3連覇達成の偉業を成し遂げました。

問16 イ

当時「真美の塔」が現在の畿央大学のグラウンドにあり、これが八角形だったことから8枚だとされています。

問17 エ

昭和46年に現在の庁舎が完成し、旧庁舎は競売に。現在は一般の方が使用されています。